

科目名	英語5b／リーディング・ライティング2 A	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	佐野 靖法		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320291	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	エッセイを書くためのプロセス（ブレイン・ストーミング→情報整理→作文）を学習することで、英語で自分の考えを文書形式にまとめるための基本知識とスキルを習得する。				
学修到達目標	主題に対する自分の考えや意見を明確にし、文書形式にまとめるための基本知識とスキルが身に付く。				
実務経験との関連性	英語講師として中高校生に受験英語対策そして社会人に英作文および資格試験対策を教えた経験を活かし、リーディングおよびライティング・スキル向上のために必要な基礎知識が共有できる。				

授業計画	
第1回	イントロダクション： 1) Brain Storming 2) Mind Mapping
第2回	Unit 1：名詞
第3回	Unit 2：動詞の現在形

第4回	Unit 3 : 順序を表す表現
第5回	Unit 4 : Unit 1~3の復習
第6回	Unit 5 : 動詞の過去形
第7回	Unit 6 : 時間の接続表現
第8回	Unit 7 : 前置詞句
第9回	Unit 8 : 代名詞
第10回	Unit 9 : Unit 5~8の復習
第11回	Unit 10 : 過去形と過去進行形
第12回	Unit 11 : 未来表現
第13回	Unit 12 : 具体例を示す表現

第14回	Unit 13: 助動詞
第15回	Unit 14: Unit 10~13の復習
第16回	試験/エッセイ

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間: ① 指定された問題の解答、② 分からない語句を調べる、③ 文法事項の確認
【復習】時間・内容	1時間: ① 授業内容の確認、② 文法事項の復習、③ Unit末の Write an Essay (要提出)

成績評価	
評価基準・方法	成績: 以下の要素を考慮した総合評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験の点数 (50%) ・ Write an Essay (30%) ・ ER多読 (20%)
フィードバック方法	毎回提出のエッセイと期末試験へのフィードバック <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回提出のエッセイは添削の後、次回の授業で返却。 ・ 期末試験は評価コメント付きで返却。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	Kazuya Kito and Masaaki Ogura. Easy Writing Output (2021) 金星堂
受講上の留意点等	・毎回の授業はグループワークを中心に進めるので、出席者が予習済みであることが前提となります。また、毎回のエッセイ・ライティングは復習のための課題です。以上の理由から、授業の予習・復習は必ず行うこと。
JABEE	

科目名	英語5b／リーディング・ライティング2 B	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	本間 伸輔		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320291	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	本科目は、高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄ますという本学のディプロマポリシーに資するための科目である。第一印象や健康の維持など、身近なことがらに関する様々なトピックについての英文エッセイを読み、英作文などの演習を行うことにより、英語の読解力および表現力を身につけることを目標とする。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・平易な英語を読み理解できること。 ・平易な英語で表現するために必要な語彙・表現を身につけること。 ・平易な英語での表現に必要な文法の知識を身につけること。 				
実務経験との関連性	各種英語弁論大会審査委員としての経験を活かし、実用英語の観点から英語表現法についての指導を行う。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション Unit 1: First Impressions (重点文法事項：冠詞) パッセージの内容確認、練習問題、英作文演習、小テスト
第2回	Unit 2: Sparks at Fuji Rock (重点文法事項：可算・不可算名詞) パッセージの内容確認、練習問題、英作文演習、小テスト
第3回	Unit 3: A Stroke of Luck (重点文法事項：変則的な単数形・複数形) パッセージの内容確認、練習問題、英作文演習、小テスト

第4回	Unit 4: Keeping Fit, Eating Well (重点文法事項:コロケーション) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト 課題英作文の提出
第5回	Unit 5: Advice to Freshmen (重点文法事項:比較級と最上級) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第6回	Unit 6: A Cry for Help (重点文法事項:感情を表す形容詞) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第7回	Unit 7: Festivals (重点文法事項:頻度を表す副詞) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第8回	Unit 8: A Tasty and Easy Meal (重点文法事項:語の選択) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト 課題英作文の提出
第9回	Unit 9: The Tour de France (重点文法事項:動詞の過去形) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第10回	Unit 10: Clean Water (重点文法事項:現在完了) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第11回	Unit 11: Women in Work (重点文法事項:過去形と現在完了形) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第12回	Unit 12: Controversy (重点文法事項:句動詞) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト 課題英作文の提出
第13回	Unit 13: The Millennial Generation (重点文法事項:be going toとwill) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト

第14回	Unit 14: The Key to Long Life (重点文法事項: 能力・可能性のcanとcould) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第15回	Unit 15: The Future of Tourism (重点文法事項: 推量のmayとmight) パッセージの内容確認, 練習問題, 英作文演習, 小テスト
第16回	学期末試験 課題英作文の提出

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間 英文パッセージの読解, 練習問題と英作文問題の解答
【復習】時間・内容	1時間 英文パッセージの音読, 練習問題と英作文問題の解答の確認

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】定期試験35%, 小テスト30%, 課題英作文20%, 多読プロジェクトの英文読書15%
フィードバック方法	1) 小テストの後, 答え合わせを行い, 間違った箇所の正解を確認する。 2) 提出課題は, 添削し授業内で解説を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	Express Ahead, G. Todd, R. Palmer, and M. Kano著, 金星堂, 1800円+税
受講上の留意点等	
JABEE	

科目名	英語5b／リーディング・ライティング2 C	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	山崎 祥子	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320291	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	賛否両論が分かれる問題点を扱う英文資料を教材にして、読解力を養成すると同時に自分の意見を英語で表現する手法の習得や論理的に意見を書く力の基礎を養成する。				
学修到達目標	英文を正確に読解するために必要な知識や技能および自分の意見を論理的に伝える力が身につく。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Introduction
第2回	Unit 1 Cell phones
第3回	Unit 1 Cell phones

第4回	Unit 2 Freeters
第5回	Unit 2 Freeters
第6回	Unit 3 The Olympic Games
第7回	Unit 3 The Olympic Games
第8回	Unit 4 Marriage
第9回	Unit 4 Marriage
第10回	Unit 5 Smoking and drinking
第11回	Unit 5 Smoking and drinking
第12回	Unit 6 English
第13回	Unit 6 English

第14回	Unit 9 Cars
第15回	Unit 9 Cars
第16回	Final Examination

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。テキストの該当Unitの予習。
【復習】時間・内容	1時間。テキストの前回学習Unitを復習し、不明点を調べて理解する。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験（30%）、課題（60%）、授業参加（10%）を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	課題を採点して返却し、講評する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	
教科書/参考書	Which Side Are You On? : Forming views and opinions - New Edition - Gillian Flaherty 著 (成美堂)
受講上の留意点等	遅刻 2 回で欠席 1 回とする。欠席 5 回で定期試験の受験資格喪失。 英語辞書を持参すること。
JABEE	

科目名	英語5b／リーディング・ライティング2 D	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	大竹 芳夫		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320291	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	Extensive Reading（多読）を通して英語の読解力の基礎を築くとともに、現代社会や歴史トリビアなどの興味深いトピックを扱うライティング用教材を使用して英語の発信力を高めます。また、テキストの音声CDを活用してシャドーイングを実践しながらリスニング能力の向上も目指します。TOEICやTOEFLのスコア向上に役立つリスニングや文法のポイントなども学びます。				
学修到達目標	多読と精読を通して、英語で書かれた文章の概要を捉え、かつ正確に理解することができる。平明な英語で、わかりやすく、また正確に英語の文章を書くことができる。				
実務経験との関連性	公立高等学校教員としての経験をもとに、高等学校と大学の円滑な接続を意識した英語教育を行っています。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション：教材の特徴・意義と使用方法、授業の進め方、評価方法などについて
第2回	Orange Clothing 【動詞の用法】 シチリア産オレンジの意外な活用法
第3回	A Reasonable Dream… 【文の主語】 パラリンピックの誕生

第4回	Japan' s Popular Wave 【時制】 世界の北斎、街角に現る
第5回	Color Matters 【形容詞・副詞】 「いいね!」の親指が表すもの
第6回	Business, Not Bullets 【名詞】 アフガン駐留米兵のある思いつき
第7回	Spices for Life! 【冠詞・数量詞】 カレーを食べて、人生にスパイスを!
第8回	Plastic Planet 【分詞】 バリ島の姉妹が地球を救う
第9回	London Coffee and Lazy Men 【関係詞】 “コーヒー中毒”は怠け者を生む?!
第10回	Jacques' Lung 【比較】 海洋探検家ジャック・クストーの夢
第11回	Disease vs. Hunger 【助動詞】 マラリアとの闘いは終わらない
第12回	May We Have a Catalog, Please? 【仮定法】 あなたの赤ちゃん選んでみませんか
第13回	Bright Little Lights 【接続詞】 メキシコの小さな村を照らす神秘

第14回	Popular but Penniless 【不定詞と動名詞】 名声を得ども…
第15回	Taxing the Robots 【受動態】 ロボットに課税せよ
第16回	総まとめと定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教科書の前週に指示された部分の予習をする。
【復習】時間・内容	2時間。教科書の学習した内容の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験60%、適宜行われる小テストと発表内容20%、Extensive Reading（多読）として毎日英語の本を読み、『めざせ100万語 読書記録手帳』に読んだ本の文字数を記録し、125,000words を上限として20%を反映させます。自発的発表報告は内容に応じて加点評価します。
フィードバック方法	発表内容にはコメントによるフィードバックを与え、小テストは点数分布を授業で公表し、全体の講評をすることで学習内容の理解を深めます。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	プレゼンテーション

教科書/参考書	北尾泰幸 / Anthony Allan 著, Writing Key: English Grammar and Usage for Better Writing. (金星堂, 定価1,800円+税) ISBN 978-4-7647-4086-0
受講上の留意点等	英和辞典や英英辞典(電子辞書も可)を授業時に持参してください。
JABEE	